

22年3月期 連結業績及び 23年3月期 連結業績予想について

執行役員 常務

岡 恭彦

2022年4月28日

目次

22年3月期 連結業績

- 業績概要(PL・受注高・受注残高)
- 業績概要 第4四半期期間(PL・受注高・受注残高)
- セグメント別業績(売上高・営業利益・営業利益率)
- セグメント別業績(受注高・受注残高)
- セグメント別業績 増減分析

23年3月期 連結業績予想

- 通期業績・配当予想

Appendix

- 22年3月期 売上区分別(売上高・受注高・受注残高)
- 22年3月期 業種別売上高
- 22年3月期 営業利益の増減分析

22年3月期 業績概要(PL・受注高・受注残高)

(単位:百万円)

	21年3月期	22年3月期	増減額	増減率
売上高	396,853	414,150	17,297	4.4%
売上総利益	102,969	108,187	5,218	5.1%
売上総利益率	25.9%	26.1%	0.2%	
販売管理費 [※]	△ 57,090	△ 60,632	△ 3,541	6.2%
営業利益	45,878	47,555	1,677	3.7%
営業利益率	11.6%	11.5%	△0.1%	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	33,435	33,470	34	0.1%
受注高	412,984	427,960	14,976	3.6%
受注残高	163,271	177,082	13,810	8.5%

※ その他の収益及び費用を含む

22年3月期 業績概要 第4四半期期間(PL・受注高・受注残高)

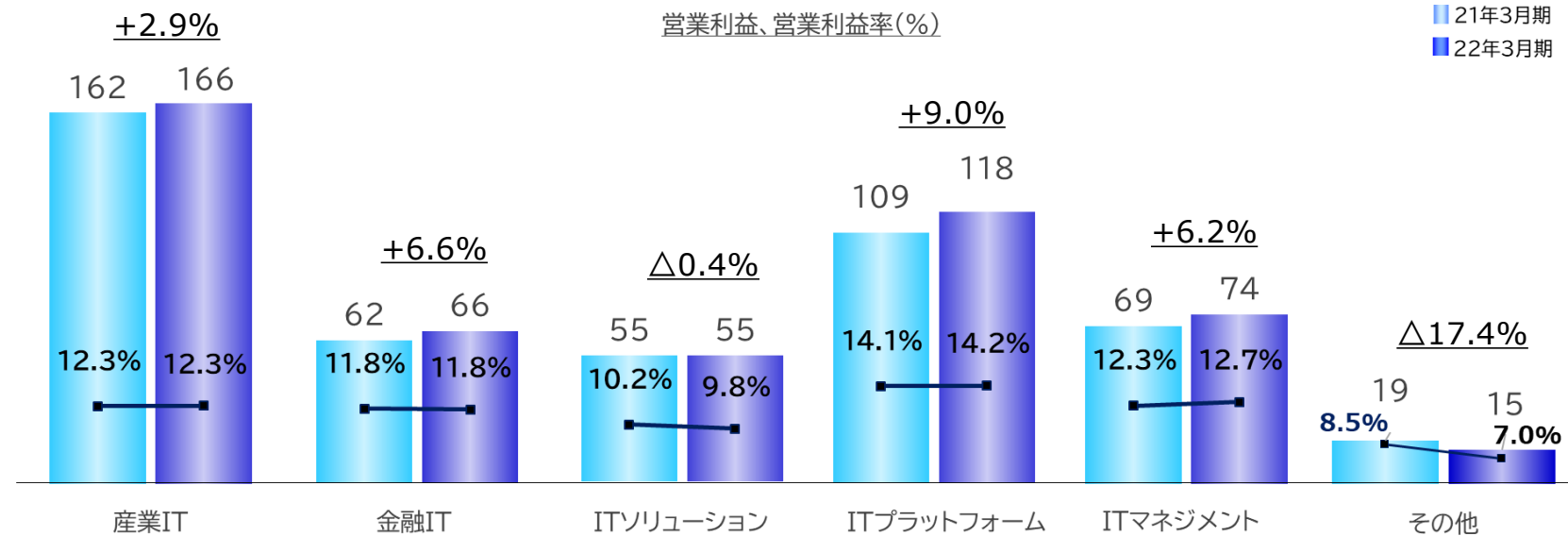
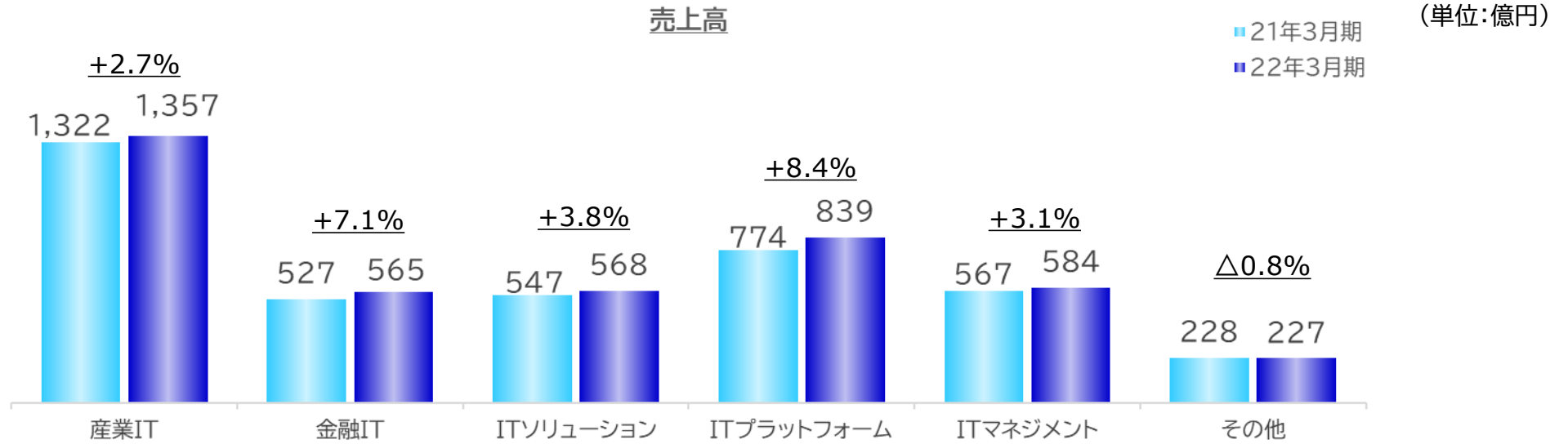


(単位:百万円)

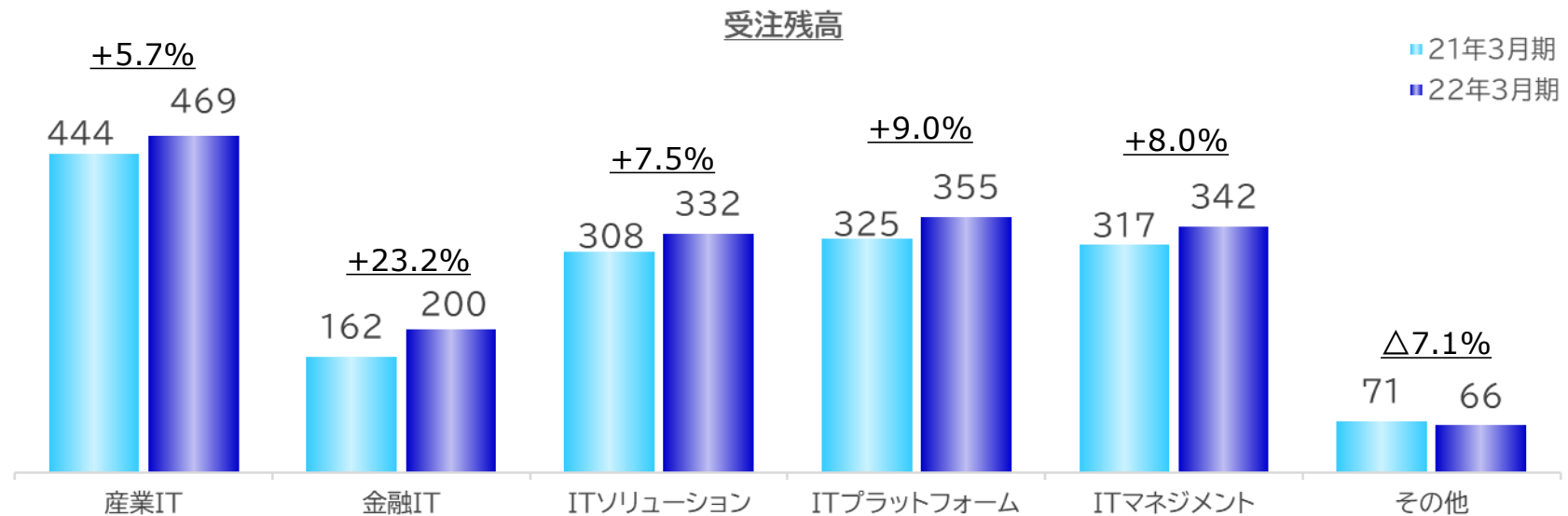
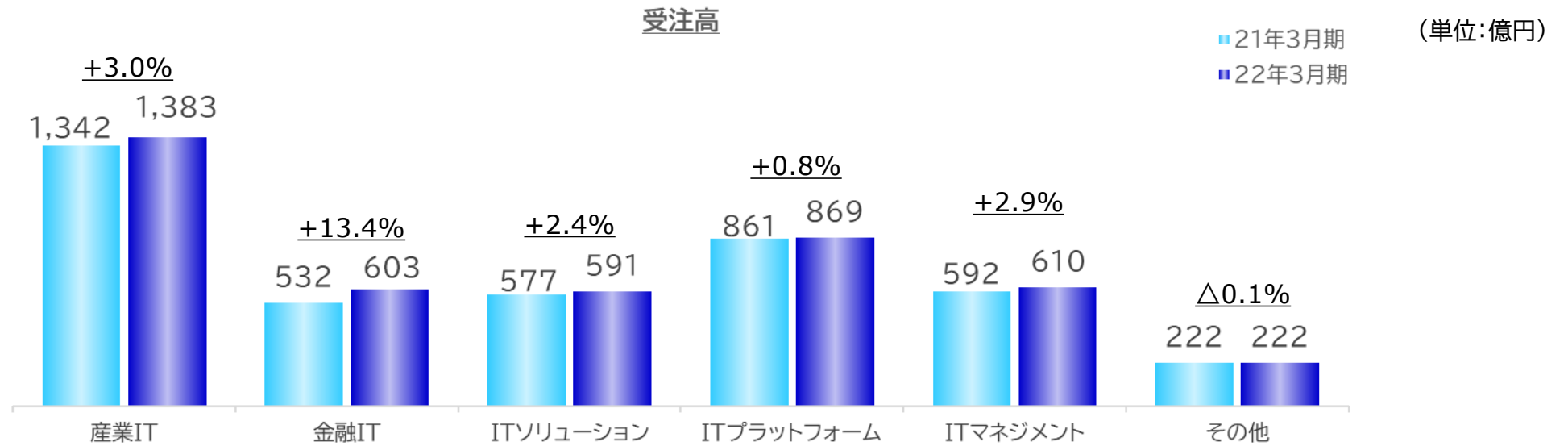
	21年3月期	22年3月期	増減額	増減率
売上高	105,986	111,396	5,409	5.1%
売上総利益	27,562	28,945	1,382	5.0%
売上総利益率	26.0%	26.0%	0.0%	
販売管理費 [※]	△ 15,682	△ 16,164	△ 482	3.1%
営業利益	11,880	12,780	900	7.6%
営業利益率	11.2%	11.5%	0.3%	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	9,653	9,212	△ 440	△4.6%
受注高	132,923	129,824	△ 3,098	△2.3%
受注残高	163,271	177,082	13,810	8.5%

※ その他の収益及び費用を含む

22年3月期 セグメント別業績(売上高・営業利益・営業利益率)



22年3月期 セグメント別業績(受注高・受注残高)



22年3月期 セグメント業績 増減分析

セグメント	売上高	営業利益	受注高・受注残高
産業IT	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 通信業向けの顧客接点強化のためのIT投資 ➤ 自動車業向け戦略的投資需要 ➤ 自動車業向け検証サービス拡大 ➤ ガス業向けの開発の減少 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 通信・自動車業向け案件の寄与 ➤ 不採算案件の発生 ➤ DX事業化に向けた戦略投資 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自動車業向け戦略的投資需要 ➤ 自動車業向け検証サービスの拡大
金融IT	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 銀行業向け並びに証券業向けの開発案件の増加 ➤ 信販・リース業におけるDevOps案件等の案件拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 銀行・証券・信販・リース業向け案件の寄与 ➤ 不採算案件の発生 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 銀行業向け並びに証券業向けの開発案件の増加 ➤ 信販・リース業におけるDevOps案件等の案件拡大
ITソリューション	<ul style="list-style-type: none"> ➤ サービス業・機械業などでの基幹系システム開発案件の獲得 ➤ BPOビジネスの拡大 ➤ 流通業向けの開発の減少 ➤ ライセンス販売の反動減 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 基幹系、BPO案件の寄与 ➤ コンタクトセンタービジネス拠点拡大による事業投資 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ サービス業・機械業などでの基幹系システム開発案件の獲得 ➤ BPOビジネスの拡大 ➤ ライセンス販売の反動減

※ ➤ :増加要因、➤ :減少要因

22年3月期 セグメント業績 増減分析

セグメント	売上高	営業利益	受注高・受注残高
ITプラットフォーム	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 通信業向けネットワーク機器販売案件が堅調に推移 ➤ 自動車業・学術研究機関向けの大型ハードウェアの販売が増加 ➤ 半導体不足・サプライチェーン混乱による供給制約 		<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自動車業、学術研究機関向け大型ハードウェアの販売や製品保守サポートなどの増加 ➤ 通信業向けネットワーク機器受注の反動減
ITマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ハードウェアの老朽化や基幹システム刷新を契機とした企業のクラウドシフト・クラウドリフトの動きを背景に、活況なクラウドサービス需要を受けたデータセンター事業が増加 ➤ 流通業向けの基盤構築案件の減少 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ➤ サプライチェーン混乱による供給制約 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 統合関連費用の発生に伴い減益 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ グループ再編に伴うセグメント変更による減少

※ ➤:増加要因、➤:減少要因

23年3月期 通期業績・配当予想

(単位:百万円)

	22年3月期 実績(A)	23年3月期 予想(B)	増減額 (B-A)	増減率
売上高	414,150	450,000	35,850	8.7%
売上総利益	108,187	119,000	10,813	10.0%
売上総利益率	26.1%	26.4%	0.3%	
販売管理費 ^{※1}	△ 60,632	△ 65,000	△ 4,368	7.2%
営業利益	47,555	54,000	6,445	13.6%
営業利益率	11.5%	12.0%	0.5%	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	33,470	38,000	4,530	13.5%
1株当たり 年間配当金(円) ^{※2}	46.67	52.00	5.33	
配当性向	43.5%	42.7%	△0.8%	

※1 その他収益費用を含む

※2 当社は2021年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。
2022年3月期の配当実績については、株式分割後に換算した値で表示しています。

Appendix

22年3月期 売上区分別(売上高・受注高・受注残高)

システム開発(下段:第4四半期期間)

(単位:百万円)

	21年3月期	22年3月期	増減額	増減率
売上高	163,090	167,967	4,876	3.0%
	43,243	43,544	301	0.7%
受注高	163,906	171,443	7,536	4.6%
	44,489	44,043	△ 445	△1.0%
受注残高	37,181	40,657	3,476	9.3%

- 売上高
 - ・ガス業向けのシステム更新案件や、流通業向けの基盤構築案件、EDI案件において収束
 - ・銀行業の海外向け基幹システム案件、通信業向けの顧客接点強化、サービス業・機械業向け基幹システム案件等が順調に推移
- 受注高
 - ・流通業向けの基盤構築案件や基幹システム再構築案件にて反動減
 - ・通信業における顧客接点強化、銀行業の海外向け基幹システム案件、証券業向け事業基盤強化案件、信販・リース業向けDevOps案件、複数の業種における基幹システム案件等より増加
- 受注残高
 - ・証券業向けの事業基盤強化案件、信販・リース業向けDevOps案件、複数の業種における基幹システム案件等より増加

22年3月期 売上区分別(売上高・受注高・受注残高)

保守運用・サービス(下段:第4四半期期間)

(単位:百万円)

	21年3月期	22年3月期	増減額	増減率
売上高	152,518	162,407	9,888	6.5%
	39,624	41,879	2,254	5.7%
受注高	159,936	170,572	10,636	6.7%
	63,634	67,064	3,430	5.4%
受注残高	100,540	108,706	8,165	8.1%

➤ 売上高・受注高・受注残高

- ・コロナ禍における需要増やリモート環境を主体とした案件増加、企業の非対面・非接触を前提とした事業転換などを背景に、コンタクトセンタービジネスをはじめBPOビジネスが堅調に推移
- ・クラウド需要を受け、データセンタービジネスが増加
- ・IT基盤強化のマネジメントサービスが増加
- ・検証サービスが増加

22年3月期 売上区分別(売上高・受注高・受注残高)

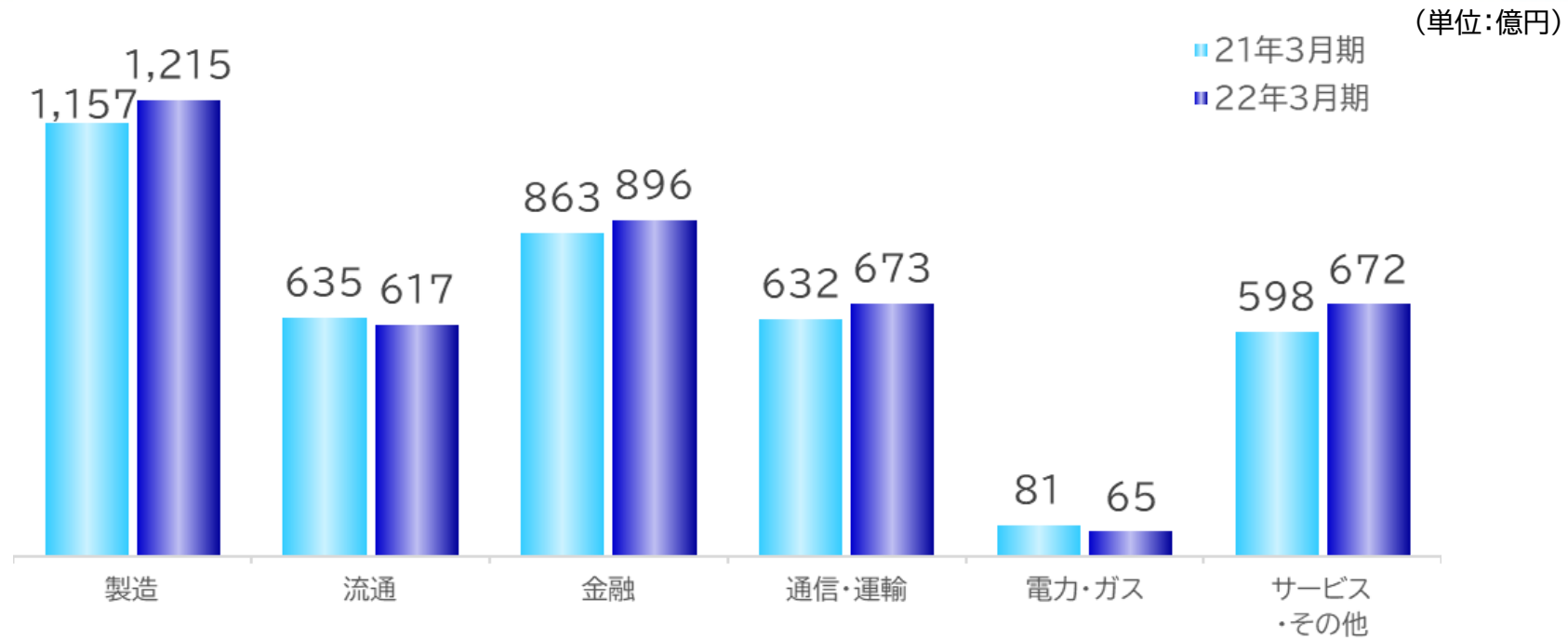
システム販売(下段:第4四半期期間)

(単位:百万円)

	21年3月期	22年3月期	増減額	増減率
売上高	81,243	83,776	2,532	3.1%
	23,118	25,972	2,853	12.3%
受注高	89,141	85,944	△ 3,196	△ 3.6%
	24,800	18,717	△ 6,083	△ 24.5%
受注残高	25,549	27,717	2,168	8.5%

- 売上高
 - ・通信業向けにて複数のネットワーク機器販売の増加
 - ・自動車業および複数の学術研究機関向け大型ハードウェア販売にて増加
- 受注高
 - ・前期に受注した通信業向けネットワーク機器受注の反動減
- 受注残高
 - ・一部製品の販売時期が新年度へ後ろ倒しになった影響もあり増加

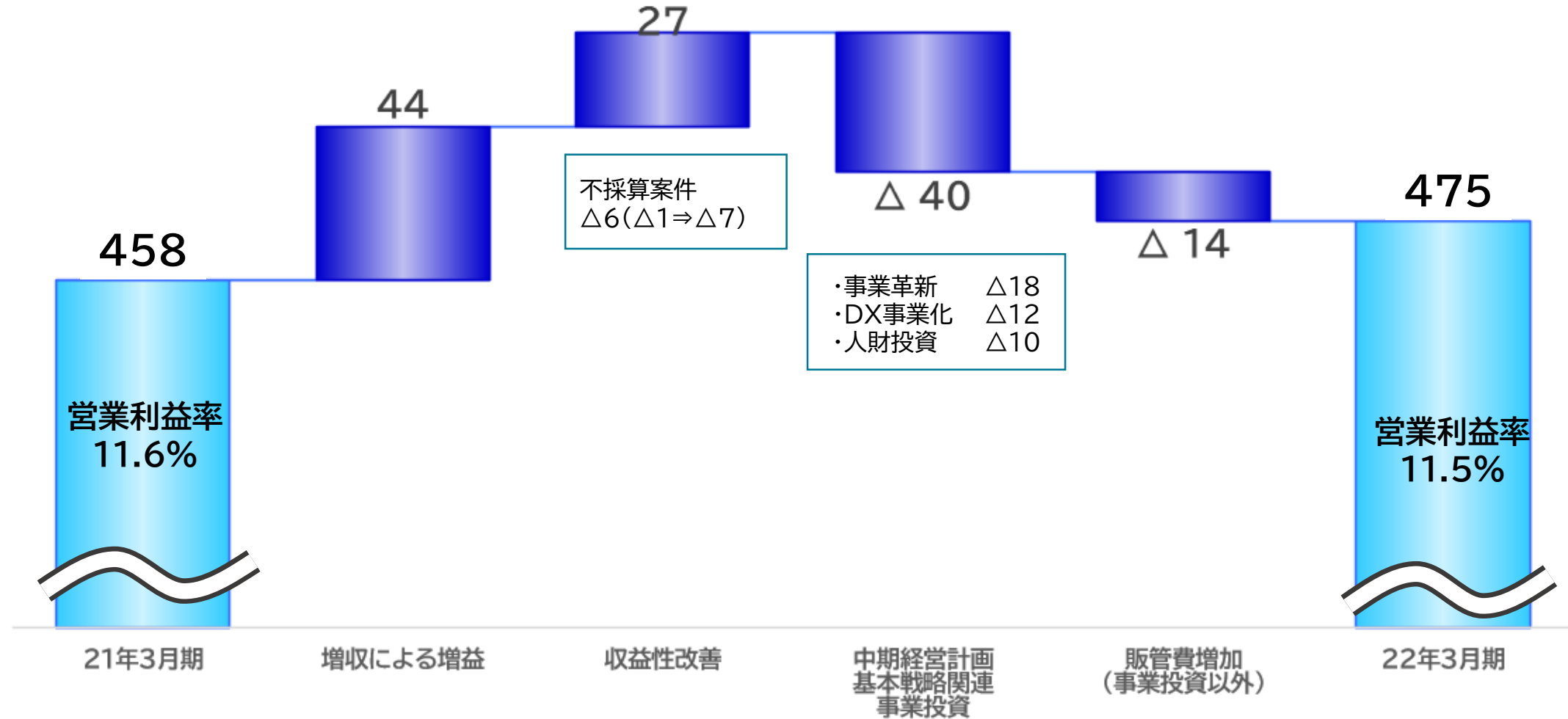
22年3月期 業種別 売上高



- 製造業は、機械業向けの基幹システム構築、自動車業向け検証サービスや大型ハードウェア販売により増加
- 流通業は、基幹構築案件・EDI案件の収束や一部製品における半導体の影響で減少
- 金融業は、銀行業向けの大型の開発案件拡大やクラウドサービスが増加
- 通信・運輸業は、通信業向け顧客接点強化の為にIT投資およびネットワーク機器販売などで増加
- 電力・ガス業は、システム開発において、案件が収束により減少
- サービス業・その他は、基幹システム構築案件に加えて、データセンタービジネスやBPO関連等で増加

22年3月期 営業利益の増減分析

(単位:億円)



< 当資料利用上の留意点 >

- ・売上高前期比較(業種別)については、一部計上業種の見直しを行ったことにより、前年度の業種別売上金額を組み替えております。
- ・セグメント別業績については、当期にセグメント区分の変更を行っていることから、前年度の実績についても、変更後のセグメント区分に組み替えております。

< 免責事項 >

- ・本資料は、当社グループの業績及びグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- ・本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。
- ・本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。

- 2022.03.31 ローカル5G無線局免許取得及び実証実験の開始について
- 2022.03.30 「倉敷エリアの地域医療DX化」に向け倉敷中央病院と連携する複数病院との実証実験を開始
- 2022.03.22 SCSK、「なでしこ銘柄」に8年連続で選定
- 2022.03.10 SCSKとNEC、お客様のDX加速と事業成長に向けた協業強化
- 2022.03.09 SCSK、「健康経営銘柄」に8年連続で選定
- 2022.02.28 SCSK、Persefoniと国内初の代理店契約を締結
- 2022.02.24 役員報酬制度の見直し及び譲渡制限付株式報酬制度の導入に関するお知らせ
- 2022.02.24 職域向け資産形成プラットフォーム「資産形成ラウンジ エフクリ」提供開始
- 2022.02.24 新サービス「人生100年ラウンジ」の販売を開発
- 2022.02.22 SCSKグループ CO2排出量ゼロのグリーン電力活用を推進
- 2022.02.15 顧客接点業務の高度化を実現する対話型AIに関する共同実証実験を開始
- 2022.02.14 「AWS FISC安全対策基準対応リファレンス」参考文書を発行
- 2022.02.09 エア・ウォーター「製品・サービスサイト」をオープン

SCSK

夢ある未来を、共に創る。